

ドクター + 教える

人生会議 (ACP)

を知っていますか？

磐田市立総合病院

緩和医療科

部長 中澤 秀雄



誰でも、いつでも命に関わる大きな病気やケガをする可能性があります。治療は日進月歩で発展して、医療やケアの方針の決め方も変わってきています。医療者と患者さんの間には医学知識の差があり、あらかじめ決めておいてもいざ、その場になると気持ちが変わることはよくあり、希望に沿った医療やケアが行われないこともあります。

厚生労働省は「人生の最終段階における医療・ケアの決定プロセスに関するガイドライン」を策定しています。このガイドラインの中には、医療やケアの内容をきっちり決めておくのではなく、話し合いの手順を決めておくことが重要とされ、その精神は通常の治療の段階でも応用できます。そこで提唱されたのが「人生会議(ACP)」です。人生会議とは、もしものときのために自分が望む医療やケアについて前もって考え、医療チームや家族などと話し合い、共有する取り組みです。この取り組みを実りあるものにするには「何回も話し合うこと」「代理意思決定者(代諾者)を決めておくこと」の2つの柱が重要です。代諾者とは本人の意思を推定してくれる人で、普段からよく話し合っておいたり、医療者との話し合いに一緒に入ってもらったりすることが必要です。自分をよく分かっている人であれば家族でなく、知人でも構いません。「先生にお任せします」ではなく、継続的な話し合いが重要です。これからの医療やケアについて話し合ってみませんか。

※アドバンス・ケア・プランニング

かかりつけ医と

磐田市立総合病院との連携

◎磐田市立総合病院 地域医療連携室
☎0538-13815000 (代表)

○紹介状があっても予約は必要です

紹介状により市立総合病院を受診する約4割の方が、予約をしないまま受診されています。そのため外来診療に時間を要し、午後の検査や手術、入院患者の診療などに影響が生じています。かかりつけ医などから紹介を受けた際には、必ず予約をお願いします。予約をしないで来院された場合、翌以降の対応となることもあります。

また、健康診断の要受診判定に伴う受診についても必ず予約をお願いします。

○かかりつけ医への紹介を推進

市立総合病院では、かかりつけ医と連携しながら患者さんを診療する取り組みを推進しています。そのため、症状が安定した患者さんについては、かかりつけ医に紹介を勧めることがあります。当院が、急性期医療(入院や手術、専門的検査)を担う病院であることをご理解いただき、ご協力をお願いします。

また、専門的検査や治療が必要になった場合は、かかりつけ医から当院へ紹介されますので、ご安心ください。

かかりつけ医

気軽に身近！相談しやすい

- 日常的な病気の治療
- 慢性疾患の経過観察
- 健康や病気の相談
- 専門的な検査や入院治療の必要性を判断し、高度で専門的な医療機関へ紹介

連携

紹介

磐田市立総合病院

高度な医療を提供

- かかりつけ医からの紹介をもとに診療
- 高度な治療、救急や精密な検査を提供
- 医療の専門スタッフや高度な医療機器でサービス提供
- 症状が安定した患者さんは紹介元のかかりつけ医に紹介

くらしの
情報